高度急性期である

中央市民病院から

訪問リハビリテーションへ

私が**理学療法士**になろうと思った**理由**

自分の家で自分らしく安全に
<u>その人らしい生活</u>

在宅や、地域で活躍する
理学療法士に

リスク管理は重要そう・・・

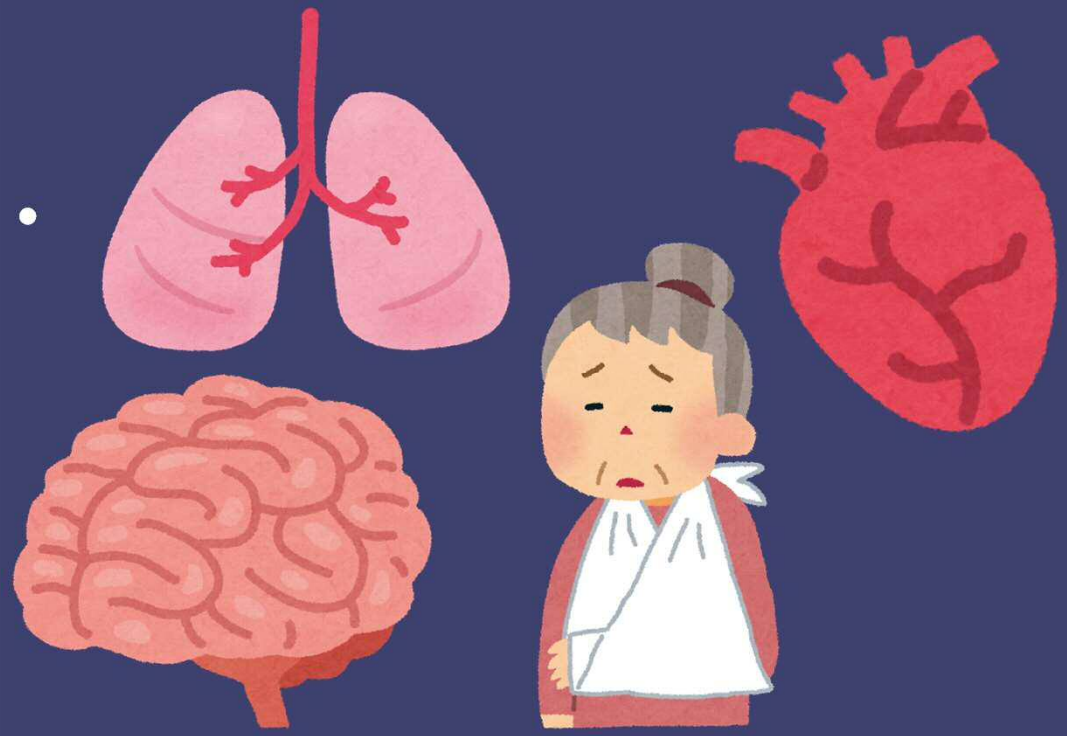
急性期へいきたい！

高度急性期である

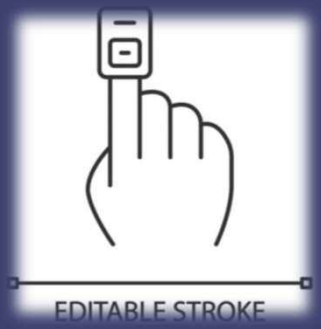
中央市民病院へ

中央市民病院で働くと・・

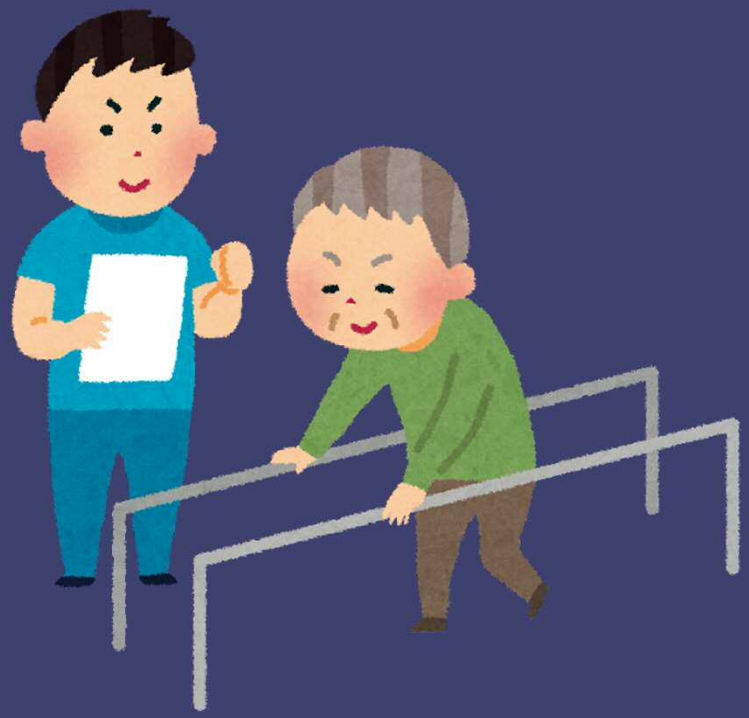
たくさんの患者さんを抱え
頭が混乱した状態に・・・



就職したことを後悔



様々な**リスク管理**



様々な**リハビリテーション**

非常に重要

Oさん　８９歳　女性

既往歴
右片麻痺

生活歴
夫と二人暮らし

リハビリテーションが主体

看護師1回/月訪問
理学療法士週２回訪問

初回訪問

安静時　収縮期血圧１５０mmhg

2回目訪問

トイレまでの移動を評価
　　→収縮期血圧が**200mmhg**越え

リハビリの運動時
だけでなく

日常生活動作でも
血圧があがりやすい

看護師へ報告

かかりつけ医に連絡し降圧薬処方

夫と二人暮らし

Oさんには**夫が薬を与えていた**
眠っているときは**与えていなかった**

看護師へ報告

看護師1回/月訪問→１回/週訪問

他職種へすぐに報告を行う意識付け

専従とのディスカッション

Kさん　79歳　男性

既往歴

腹部大動脈瘤→EVER
大動脈弁狭窄症→AVR
脳動脈瘤→コイル塞栓術

生活歴

夫婦二人暮らし

リハビリテーションが主体

看護師1回/月訪問
理学療法士週３回訪問

３ｍ程度の歩行
→**腰痛・下肢脱力感**
歩行継続困難

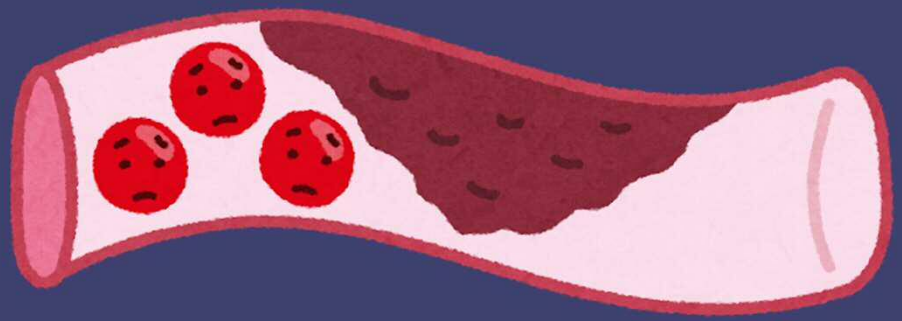
閉塞性動作脈硬化症
間欠性跛行の可能性？

かかりつけ医へ**FAX**

ABI検査

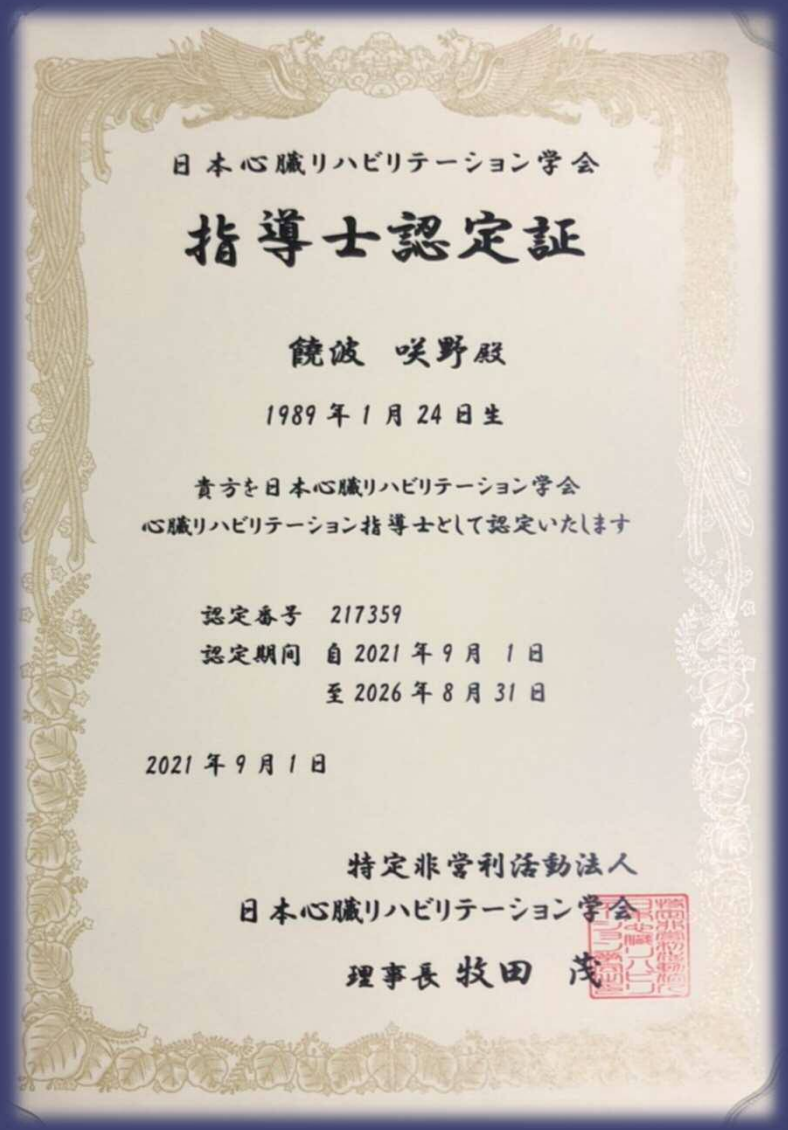
動脈硬化多発

ABI：右0.50　左0.91



運動量増やすようデイサービス再開

バイアスピリン→シロスタゾール



日本心臓リハビリテーション学会

指導士認定証

饒波　咲野殿

1989年1月24日生

貴方を日本心臓リハビリテーション学会
心臓リハビリテーション指導士として認定いたします

認定番号　217359
認定期間　自 2021年9月1日
　　至 2026年8月31日

2021年9月1日

特定非営利活動法人
日本心臓リハビリテーション学会
理事長 牧田　茂

心臓リハビリテーション指導士合格

運動　服薬　食事　精神

総合的に患者さんにアドバイス

チーム医療

訪問リハビリに

とても活かされている。

Kさん　89歳　　女性

既往歴

うっ血性心不全
moderate MR
moderate TR
EF25%

生活歴

息子、娘
３人暮らし

リハビリテーション１回/週
看護師訪問１回/週

毎回体重測定を実施

<u>顔面浮腫</u>

体重４７kg→**<u>４９kg</u>**

昨日ずっと座って寝ていない

→**<u>起座呼吸の可能性</u>**

すぐに看護師へ連絡

看護師訪問→かかりつけ医へ連絡→**<u>内服薬調整</u>**

訪問リハビリテーションでは

医療スタッフは自分一人

限られた情報の中で

在宅で行える最大限のリスク管理

病態をしっかり把握することで

正確なリスク管理

看護師と同様に疾患

早期発見

看護師との連携が早い段階で行え

予防・重症化を防ぐ

自分の家で自分らしく安全に生活

お手伝い・アドバイス・サポート

Sさん　７８歳　男性

肺癌 ターミナル

既往歴

膿胸

生活歴

妻と二人暮らし

基本動作は全介助

コミュニケーション困難

医療的ケアが必要

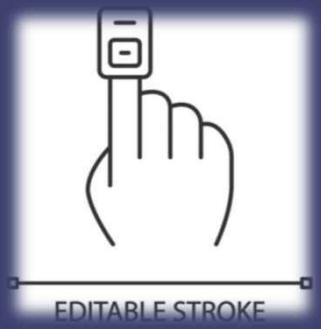
痰が上昇、ゴロゴロ
しており不安で夜も眠れない

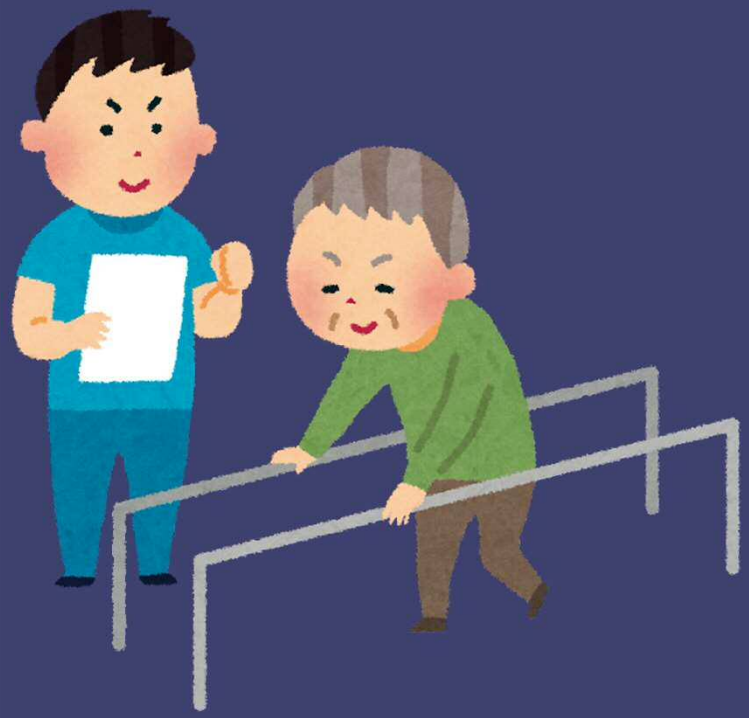
胸郭モビライゼーション、呼吸介助、
頸部から肩にかけリラクセーション

夜中にゴロゴロすることが減り、
睡眠がとりやすくなった、**ありがとう**

訪問リハビリテーションでは

どの疾患にも対応できなければならない。





様々な**リスク管理**　様々な**リハビリテーション**

在宅や、**地域**で**活躍**する
理学療法士になるための**土台**

理学療法士として

ジェネラリストであり**スペシャリスト**

様々な分野で活躍するための

入り口

患者さんが

何を目指し、なにを求めているのか

在宅で生活する方々へ

たくさんの手助けができるようこれからも、

ジェネラリストであり、**スペシャリスト**

である理学療法士なることを目指し

精進していきたい